節が挙先国際語識を指摘しにこの際ルーズベルト大説

ヴェノスアイレスにおける 力化するに思ったが、就中

米州中和門派の米自有の成

府の質力と意見とを以てす 政局においてはアメリカ戦 分にも利下の挑談した関係

縦を探川す時期は水だ器し

遊してゐる、ヘラルド・ト

う大統領に迎言した」と報

つき全面的行動に報出すや

が何等かのイニシャテーヴ 戦局の打開にアメリカ政府

脚天地を確立して以来各師がを納めて西学昭に平和の

に働きかけ軍備競争の単正年和版団はしきりに自盟衛

华和殿司の要品に到してル 解くことは略ほ巡盟に立く こも利り一小に監修財命を

起を要望したといばれる

にルーズベルト大統領の影

く燃制してみるといはれる スペルト大統領は式の如

して正式に全版的複踏みを の途に上る確定であるが果 たといはれる、デヴィス氏 でゐない諸大統領に逊言し

は五月初旬ヨーロッパ巡遊

日間しルーズベルト大統領

ては消息通ば一種の打診と

ルーズベルト大統領も實施

すると共にアメリカ言論界には別何との為地が放式行

世の心内とならむるが、何

車船特使デヴィス氏も関係

闘ありや否やの質疑に関し 大統領は頭から否定し

四一年期四流を召集する意

洲中和南部を指げする

日の紙上に放てザ

に「ルーズベルト大統領

アメ

リカ言論界、白堊館に呼び

和會議を招請せよ!

外務方式に腕する貧難に刻する著名に放て以上に関する首は、成就) 青田均(成成) 南氏の籍(成就) 青田均(成成) 南氏の籍・成成が 自己に関する。

線は各方面に異常しセンセーショ

ンを推さ起して思るが肌中

|れがある所からこれらの點を中心として誤解一掃の||の接壌関に對しても戦争の危機は日本の侵略的|| 岡以上戦争の危機如何は日本の態度にも重要關係が「

間によつて招來すると

勿論であるがかかる準備が十分であ の充實を以て對處する必要あること

、こいふのであるが殊に蘇聯、

意は外國の侵略行動に對しては國思なしと関したことであるが佐藤外相の

へ方如何によつて決定するもの

兩相答辯矛盾なり

政府、速記につき比較研究

多響反交外嚴佐

否かは日本の考 ¥ 中の危機が起るか 中の危機が起るか

子分種足的説明を行ふこ

(外説明の②を確さの鑑かありこれがため園の内外一部に誤解を興へる場分があるので佐藤外種は一層日中に適富なる候所を提へて架に東京業選) 宏雄外相は十一日製造院を渤海において臨足、蓋田市民の薫陶に答い老証大 骸に外発上の所信を接鑑したが時間の馳隊に

反響の中心は。日本の態度

として十二日午後の貴族院養算器

大藏男再質問

首相、佐藤外相、杉山産相、米内一せしめたと云ふが如き印象を見へ

接壌國の誤解

明したものであり佐藤外相の総言 を求め同様相足的説明を行ひ一般 総計は京都良境の現狀を中心に哉 の木部部に於て佐藤介相より総言に能に答称し紹識の結果様首相の 明を行う交響機能に於ては十三日 時制に對する認識に於ては首相、 て述べたに過ぎないものであって は外交の根本放則を一般問題とし たと一般問題と現實問題とを追引しとし同士時政策した 説明の内容に騙しては同日正午記 内に四相智能を開き出来すること

たかったほめであると云上に感見 に生じた誤解を一掃するに努力す 致し本日(十二日)午後の貴族

「記られる(智慧上川越大便、下王外交副長) 既に川越大使と王野外交池長との重備的打合せで外担は富

石につき川越法制局長官より後日 る四を強く

究)より形成の見透し、正氏現然 大河內輝耕子 (歌 【里京出語】十二日の御殿院度好



の方式を川護大使に鉄道、菱池城構に削べることとなつた。尤も選に向つて来たが田毘港記はは先づ十二月電景に魅きな勝斯外相 【上海十二日赤星特派員】佐藤新外相が従来の行掛り を表明して以来欠しぐ停頓してみた南州間の交渉が成開される。高 を捨てゝ平和の立場から日支兩歯間の懸案を解決したいとの意向

異縁延べについては私は之を使大河内子 その後陸龍軍の總 所見如同
用しても様は如と思ふが酸曲の
別処域ベロついては私は之を使
類線越ベロついては私は之を使

大河内子 腺原原素が提出で オ程皮 れた時から廿一日の審論期前は オ程皮 れた時から廿一日の審論期前は オ程皮 ら使用すべきでないと考べる
るが政治上使用せねと言明した

・「女子上で用きなとう明した」。必ずしる感いとは考くのお何を 結、城下域相 法律上は出来 見玉 遮相 即内開家の内容は 「中華」 研究したい、目下の複点事を致意解し難い問題があるので暫く

題、 園民保健問題など多様に至う 『登禮理、既外告所問題『敦剛龍 | 大河內子 その方針は新華し 部艦を国民政府から憲統的と政策を牧として提出することはあるま られず交渉の町途は相当多難配されてゐるが正面から治外法協の

に然えてゐた。その時髦からびた

0

ものもあつた。

(黄金花狭く薩奥のと云ふ文句が なものもあれば、側のやうに赤い 田中貢太

通

勢郎

(2)

やうな実際がして、それに置いて

能よく光つてをるぞう あるが、なるほど資金は花むや、

寢る前に

電報は盛の上へ置からとした小

質問したる後度に農量問題につ

冉開機運動

空連絡、北支那の經濟開發から交渉の幕が切空連絡、北支那の經濟開發から交渉の幕が切、航程等である右原則に基さ恐らく關稅改訂、航 水先館回収、更に蓄泉域館の解消等を園民域府が主張するかも測 つて落されること」ならう、歌んで内可能行威能に

具體的に交渉が始まるのは四月初めになら変態の原用には層間外交割の開発機権を必要とするので、愈よ

點と考示べきだと思示が如何。 私は修正案提出の時を以て起資 案を提出してもよいことになる には、何人か来たであららが、 あららと思った。二三日前から伴 た。武翁は作式が美つてゐるから 何か話しある壁が開えて来た。笑 たとすれば病人の見舞に来た漢で一

云つて腰であるところであつた。の形左衛門が瞪の節ぶしが確むと それとも規類の漢か) (何人だらち、出人の農夫か、たった。

(包はまだ映いた事はないが、句) 小戦には嘘のやうなもあい)

つたからおや、黄金にこんな句は

これは脳の中へしまいこんであ

こんな美容法を

置いた。その時線期に黒い部が引 して、のつそりと来て立つた淡が

前者は音笑してそれを恐のよへ

は香風を嗅がらとしてあるところ 物を暴の端へ掛つていつた。それ

大河内子市が関数での他の問題につる問題にするか、その範囲は結局何もやる問題にするか、その範囲は知何ない 出入の農夫ならわざわざ隠居屋

形に来る。今此國へ来られては国

明少年 0

月中旬には創立總會

・ 一月十二日から飛行期的同

◆節原元由鐵道事務所長 人城中上 十二日顯任 ◆鈴木第八十縣除長 人城中上

飛行似格九十八フラン

、朝鮮朝線江水力砂流株式資祉電子の他に開する協定電子の他に開する協定である。できないのは、できないのは、できないのは、できないのは、できないのは、できないのは、ではないのは、できないのは、<l 間に亘り本府第三的 協議はよる 前上一時から翻ぶる間川、最

「上海士」日同盟」四足政府は「

大慰霊祭を擧行 國民政府料連で

附)入城中十二日名古□、丘 小橋製器少將(第三師四司立

で支腕を楽したので朝鮮教育等日本の大部門教育を指する。 ときで述び阿と居との信定、此本方針を決定されに基いて各社とを対象の大部門教育を決定された。 はなときで述び阿と居との信定、此なとするとの特定の一部に関する社会を対している。 とは決定して訪問は政府で朝鮮 南原新都を代表して圧積筋氏、軍 将士大慰西奈を執行するに決定、月十五日を期し綴迦において陣髪

赴くことしなった、何右慰霊豪郡民は十二日が行機で南京都教道に 央軍総合即兵式か行はれ中央より 行便は近城郊外において鉄道単中

勅令で公布さる 海軍武官任用令

一行体質期間は従来一年以上と規定 ||政正が十二日聊令をもつて公布さ 敗止、之に闘する海軍軍国任用令 されてゐたが今回都台上十ヶ月に

とも今回の窓を翻訳図は既府職

しれで母務的社会せを終へて開方 に任今回の協議解は十二日で終り

市の上級決を得て決定の上來月初

▲順天公立四科

佛政府國防公債

は十一日員師公佐建行につき次の 【パリ十一日同盟】フランス政府

ランを以て版一今藤井等太郎氏(不二興行軍部)ン又は決済級一十二日入城朝鮮ホテルへ →七田一郎少將(○○部隊長)十 一日京城遷遊爾彌へ

てやるものだから、相手の感度

外交といふものは相手があつ

れと聞じやうには夢るまい 如何に依つてこもらも方針を決 が相がおつしやつた

斟問は相手の態度見て相手の

跳が定まつてゐて、さてその上 外変の機識はこもらの態度方

ないから、俺の前へは米ないだら

必認したのだよ、 **吃感したのだよ、難つて来るもの総人でも来たちやないかと思つて** 『默つてのつそりと求るから、強

(しかし、茂平であつたら、而日

はゆとりのある風景

が人にならなく

准衡はきまりが思かつた。正治

版の米を掛つて往つてみた。

なづかしいんです ところでその『新しく出録』が] 無用と圧精衛氏の言は正に同窓 製と二見を置して耐婦と心中

> たので、また小戦を出しはじめた。 て来た。同時に領ももが疑んで来

少報は十枚となり二十枚となり三

「默つては来ませ

能蔵は半気であった。

云つたのおや、何にもならんちゃ

ても、東てから た、今日は、 間無難の者、順境の渡り高よ同 の語言、講師と語言生の熱意趣 合道機學官等を集め取り則由 天地玄黄 政党してみた。 次翁は

張業を

等間に

して

来る演は何人だらうかと考へて、色の白いではいいません。 は真彦道を打つ直腕があつて年中一てふるところは、どうしても前の つた。重新は盛の中へやつた手を ないと思った。金翁は収監が些か のなら、どんな事になるかも割ら の茂平の事を思ひだした。茂平に 四井の前屋になった奈良片の観新 あんな漢にこれを見られよ 「覚疹道は、鑑人のはじめもで」 生三三に見える肚皮で、黒い手間の色の白い膨脱の切れるがつた二

そのま」にしてあげなかった。 何處かに泥くさくないところがあ 木融の鉛を数で、牛のするに立つ 来られて聞いるがつ 重要であった。 進費は不同に人に つた。木目辺窟と云ふ時間の弟の 農夫の作であるが、それでみて た

『隠居さん、何をそんなに必然し 龍巌は雀背の鶴 办 國及寶重

漂傷、ヒヾ、おか 擦過、鼻緒 スレ 切傷、火傷、打傷 きれ、韓輕痛、簒 全國薬店にあり 効力本位



<u></u>

からキメを整へ、蛇々と若近でなく、葉がいいで、しんだけでなく、葉がが似いて、したまでは、葉がが似いて、しんこれでは、葉がが似いて、しんこれでは、葉がが似いて、からキメを整へ、蛇々とないが、 御存しですかり

洗え と お 眼*唇。 髪**ゲ 化*のの 後*剃*粧*疲*ア に 後*下*れ

















級は決して良くなかつた、教誨しまたに京批しらつて党所をはさめそれからの十屋籍、彼の服役成一名とき、細川教師師から『二人の 鷺島 皇軍報恩の意から

を申出て小型所長初め所政の監測の十圓ではあるが、奪い國院献並 1本男子ありゃと並派こそ些が、 陸州配会日の住き日々こゝに

肝げたが、 を飾つて昨春中国へ解り結り式を を台せて開業した関節料理量が高 つて五、六萬の財産を築いた、賦

四であったか?否これまでの设は「都霊の恵を抱いて漏州へ渡り、力と致ったか?否これまでの设は「都霊の恵を抱いて漏州へ渡り、力を致った性話がある――故は悠紀「長男と天男は彼の脱投後間もなく 方銀りに家族の共の後を割つて 初めて本作にこれでは夏をまさめ師の散放も馬耳鬼似と聞き流す 想たのも偏に意和の起路を受けたたったが刑事も、年紀の7年 4 たの遺憾に濡れた説路を受けたの力に非年十一月の或る日。 るぐとの遺憾に濡れた説路を受けたのかな事がある。 おいて本作に立ち返りたまさめ師の散放も馬耳鬼似と聞き流す 想たのも偏に意和の起路の間である場所に表演を表する 息子が設別にあつて成功をおさめ

提的近は精芸四十センチであつた 金剛スキーの提中で外

> 時三十六分)無事チュニスにが野 **竣入時三十六分**(日本時間午後五 同で地中海を翔板、い・M・ハ午

はでめませられと開定して以来との理じは改年的でお互びに引致さい、野野製造と選抜

社資源長で現場域府手罐車道氏開城府尹寄附、元京城府

かっこつもはそんな協定はしない

ソタリ正んであたが呼合制路整備

かいっと引扱き上作をかり数日前

即是是

パステヤを出郷したが、町後三時

とつてゐる磐番の飲入もまた大し の概をもつてその稼ぎ高の歩台を

生は子歌音から引張り風にされる

ルジョルジュ・エルニ氏は選ば、

行家アントアン・ピサヴィ氏語 「チュニス十一日同日 フランス

扱き問題から製造同志の読み合ひ

五六日囲から干涸近くの並を稼ぎ

しどとうでぶいてゐるが、彼女學「サラリーマンなんて語らない本」

を成つてゐる、右につき朝鮮無審

映画学優ならのあで数の妓生の引生金小月ほか十名を放着様に揺ぎ

交渉の結果されを引扱いた高質を へ就能方願出で春の花母界に共加とし朝鮮物番から十一日貢献的番

一方盤路外番では へっから何本外番では、と思ひます」 ない ないしょ はい ない ない ところ ない さい かい はい ない と思ひます」 へ の が と思ひます」 へ と で たいと思ひます。

へたが聞もなく整確した、殿成は生活財産では近日ステリーを起し

京城中

學校

大 朝鮮神宮表参道

フンドー

あるどころ

場造釀油醬杉高

9

力

Ø

1

東にはい

新定ス

部中で乗をのんだらしい

〇一個デ卒業マデ

頭好神アル葬店機等ノ製品

特製ラン

K

マント、洋郎、學校用品學生事典物、革教会和學、進級ノ雕物コ

新型豊富大特

自製山賣

曾

|葬御

醴

伊

賀

Ą

歔

At .

髙

し價

Лi

礟

処生の引拔きから

券番同志睨み合ふ

新事廿二センチに褪し、十二日午が、十一日夜泉原烈な陸雪があり

日殺系統の家に

生れ

が引加へた

月

かりの

加

特 名

選

袋屋

骨骨骨

轍

札

級

八八八本 28 • 目丁二 91本

し置いて、悠々と現場の様子如何

窃取、訓経六丁目の相称方へ題

自殺

2年大院れのため十一日世紀便が 關釜連絡復す

継続した開発世界は、十二日朝並 『あかつき』『のぞみ』及び翻译「城支佐部は集保経性試験」と既従の言語が一個か幾行取制のこと既似の言語が 神宮風絶点人口の極の中空質的版」の本衆を選げたもので加入等に機。十二日午前九時年とろ吉野市均節、光气ごと関則、遂に二度日に自食

競車ベルに悪戯

华京城政政客橋で夫人同作社会

のアトラクションに出版。

ラブソディーその他ピットない

五圓で取引き

「動物館として目記ましい趣味を | 55十四、五回の呼他で取引されて | 水登浦と市街地計畫

个町筋

活角店を

るので近く注意地 似の歌正を見るをり、往尾僧の戦自四五十倍に當 半繋部制の一部裏動を左の如く酸

器血程は百五十八萬六千四百七十

即職による協制機理を行ふがのる永原部は感と四月から市

一呼で法定地域は非常り十一

京畿簽部補吳動

数付追巡査に聖慮長し

祭伞料御下賜

本師學志田男演生夾部仁川獎發 月とい

で発生的に見舞び、去る三日の如 かい気温か十二日朝は盆飯直下の設に迎へられて今年の春に近足 人々を断に、山に続つたが、このB 逆戻りの寒さ けさは零下五度三でした

社業が局では十一日実歴 下脳の光楽に浴した、本 岩の地下より祭業科師

一動し十日長くも

月常選にまで転付昇り職群を顧る | 三の多への遊覧りと記ばれ、例中さは十五度二といる例中にない五 | 遊標のダイビングをして勢下五度 と許り洋眼盤笛の中にしまひ込ん 機器をかける慌てた原類を描き出 た資本語の美聞な初頭まで近ひ出 製水した映画は記録にあつ

ためで、もうこわ以上に悪くなる

こんな時に風を引くから御行為を一般火事物をトップに本町通りの一いもなくすく照かくなるでせるが一新春早々の一月廿七日鐘箭の怪絵

入學試驗始まる

第一高晋、第二高晋、京西、 小規の関はトテメク散軍第一回の多勢の突続者を見ると士供心に緊 · 京中、龍中、城東中、

風の器は十二日午町八時から寒空 の姿の脳の下に一揆に関つて落さ 人學試練、京城府内の男士公立中一般の色が画に浮び明添びの製足婦 の方が不安色に包まれてゐる 度能にやがてけたくましく明り歌



タバコを吹かせながら出てくると として題らなかつたが、十一日の ころを引捕へ調べると、慰初は部

所を出るや同刑疫所内で知合ひ甲童(こ)で昨年九月四大門刑務犯人は京城府武橋町節料三和金

大、電話が発売を続まれ、変明けと共 大、電話が発売を続まれ、変明けと共 で、こ話を開けてピックリした作氏は で、こばを開けてピックリした作氏は 活。もつけにとられ東大門基へ駆け出 を、日下収入様で中 京城街堂町三四〇雄式タベコ小笠

臨月腹の男

質は掻つ拂ひ

4、ビジョン六番、「りをお庭をふくらませブラリー」「祝しい職」 の私は家なき子で山中を推家に夜 一部がコロリと出たが規則の整合に

神經衰弱の三越計算係 その被害的一萬五千國を自 名完配すると共に撤退となつて捌 その所征は不明、引願き合誓へ指 店の品物が空ツポ てゐる場で御用 から中屋の混行ではないかともみ 奴隷の程行ではないかと配んであ 直を行つてみるが、米だ音として 龍夫の行方について連日必死の控 新堂町の煙草屋に 阿須路署では主犯とみられる中尾 らが、金はこれを否認してゐる、 院を載ひ自分の虱の中に児島 十、日正年すぎ刊び同保院職 一時京城県温町七一一本照。岩三十四匹を築み、同二時廿分ころ。に紹び込んで五回在中の手提金甲 **卅分間に二ケ所へ侵入** 方へは人士ーズ其の他洋服時間自一には早くも同間七〇八字光雲岩下 院正に斃めてゐる であたのでその結果らしい ・ 取所は無に神経感動が放進し ・ 素種行気長)十二百年後二 ・ 本素種行気長)十二百年後二 ・ 本素種行気長)十二百年後二 ・ 本素種行気長)十二百年後二 ・ 本素種行気長) めたまく自殺してをり、兩親の血かつて自殺し及親も内地で離を秘 にも出演して人気のある遠行 助過立した結果、下り『のでみ』 一受けた同心も自殺魔に魅せられ 押記性の方で父親は朝鮮でこれも アイチタ部間流行歌手でより るたのでその結果らしい が悪戦したものと特別、最高統派 を

一人か

面白出

型名の

一人か

面白出 一般にので、軟目的から抱人を設 態型から列山田放を設生しては ・殿山一郎氏は十二日午町八時十 悠々模様を見に行つて捕はる 验藤山 一郎氏 が鳴り置し、、スハと解説が出 列心の疑心合図が鳴り 犯人はこの一人に止 けふ本社訪問 急泥棒

での

-リラヤギ階六

+

一中井の六千国盗艦事件も此一児が發見された 眼が覺めて見ると

ごろはつた主人が部児、手篇を加 をほかり苦悶してゐるのを十一時家人の留守中が低い選をのみ自己 今性さんごは十一日夜七時ごろ 京城大説町一六字般性さんの変態 生活難の服毒

京城 養育 學英語科(夜間) 港上野舞

高業科

(書間三年修了)

可申請中

| |発した

ピサヴィ機 チュニス着





【今晚】 南 [今晚] 型 學用品大会 出產·

品陳 を仕券道基 方様へ。: 記念寫前撮影 お買上げ三囲以上のお 列 會 開條中

業營間夜 🏦

五階ホ

階 J

新柄豆出 H L E Ł 70 階 階

ファイバーセ

~

F

用品賣

學校制服·制帽

特に御批評を・・・・・ のこよなき輝きとして

仰ぎ添る

品展出

修整の片例の妓生の襲奏を伴れて料学に行く途中を茶屋町 路上で制制な鈴木地 事に捕べら め、事間をはじめ木町筋の一流質店を片端から荒し、主として銀金をわらつてるた二人組 の日間の中に放大逃走したが、同時前は此か異様な臭意に驚いて避妊、大事に至らず消し止

反こをはじの高微な生職雑貨自世監約一千回底を紛取した上、その明法を一円世に日午前四時房城本町一,三二鐘粉サービスステイション

鐘紡サービス・ステーションにも放火

愛妾と步い

た怪盗の共犯

機路域には正过の対れの一名の

か

主犯姿を晦す

まため楽見

調明的影新

期気山でる樹笹 情新な春の感覚を心ゆくましに 菜のいろとりゆかしき世粧に

精美の作品こそ・・・・・・ ~に移し來りたるこれ等

織染のいる

國華岡」染織漁品所表

声を意味

お土二条

九日目の忠南道會

中等校入試合格者

咸興高女校

ジャトニク

詐欺漢

製工 大変製造・学生の発音・関連組 大き間差して一種工程とは第一金で を開発して一種工程とは第一金で はではして一種工程とは第一金で のに対して一種工程とは第一金で のに対して一種工程とは第一金で のに対して一種工程とは第一金で のに対して一種工程とは第一金で 三人組全州を荒す

一致からホープ用十八金県伝張り

財 類似で部二段館を打切り度がを開 半数官

平南は教育 いで崔脈紋環域の初等學校是輩の一校の學話地加、

四日間検討を盡し 豚算案を可决 金知事は熱心に方針を説明 六日目の忠北道會

融通してもよ

畜牛獎勵に杉野議員熱演

げのことは言つたらよい。 外肌眩離れ(蔵州)言ひた見や希望を開映する時日が

| 平極|| 平間直回 (六日) は十一 費で論戦

八日目の咸南道會

一萬圓や五萬圓なら

|道會掉尾の論戦



今にころしきとき

は價養榮





どのこ

社會式株酒麥鮮朝

ほ山東省曲阜の文廟の奉祀自として連縄と現のだが、支那では孔子七十七代の真確が全な

依してゐる、七十七代の

り、空業後は日本にも魅いた事がある、今はとして月を居てようとして北洋武備學堂に入いが、孔忠殿の後紀入孔舎傷はかつては軍人 野心もなく曲星の主要様養術館の認識でし十

◆……孔子の子孫はあまり多く分つてゐな 且つ古式のものであらう事が探知されるよう単げると言つてあるから深し大がかり

を費し、夏の最も炭綿の候でも六時間その他

し氏業の反射運動に遭び中止した事があると、 上蔵でいつた七十七代とを結婚させようと 東部質の時自分の年頃の娘と結時まだ蕎く

七十七代は連世の戦死に一日の全部

焼した様に、北土標の子旅といる看収を借り ようとした不能な軍閥が何人か居り

蔣介石が精錬の基を基て栄楽師と結

し、妻の母婿のうち一人は革命の元動。一切ち宋系六人姉母の中の一番姉をその妻と に変の第二人共に政府の要職が領正財閥の人は近き将来の支那の選級選王であり、更

り何だか本泥板倒の賦を襲へてある。 地口でカラスラと解釈しなに言つて居 道し一日でステスラと解釈してしまつた。そ

泣き込んだところ帰復是は暴躁の態度然を派

選成、展送機を加られ、 選成、展送機がから管里

○……億人の子標に大張組えて分らないも

の直裔はどうしてゐるか

意成より四つばかり上である 意成より四つばかり上である

孔家では七十七代の結婚は鑑数の本義に叫

宋

FERRER

安心文献品 (所介文学)

厳)に達したのでこの十二月結院式を駆け一

設置されて来たが、本年 叔父孔台側の後見の下に

上代の後妃人をやつてゐる

で武系ではないが孔子七十五代の孫に當る今を貼めく行政院訓院投棄財政部長孔群盟現存する孔子の子孫の中で一番有首なのは

も契抗がつかす頭頭山東省主席螺旋壁の處に 非総歴と関連も近の期間と孔中直廊の成光を具てして「蜀にも総四限五頭の明期と孔中直廊の成光を具てして「蜀にも総かの際壁で孔家と純武の間にゴターへが起り」いから、

末法の世を超然と山東省に健在

七十七代目が近~結婚

らしく、今年の春、曲壁孔子層の祭田の瀧祗 らしく、今年の春、曲壁孔子層の祭田の瀧祗 いまままり とは至く便変旗な生命を続けてゐるらよいは大塚土時間は整頭し、子供ではあるが定世

なり此の冬行はれる結婚も政略形なものでた 裔にも膨くびか立ち返った認である(但鑑はいから、欠しぐふみつけられてみた孔子の直

活し政府から物質的な援助も與る

いれる事と

¢

一水らく際、出れてるた局教育場も限

(括弧内はその配偶者) ・系鼬が最も簡単明証にこれを示し ・細のほので如何なる地位に在る

十五歳(日本流では十六

兼題『摘草』

兼返目時剝ぐ▼吟行 十四日、 から銀行集資所(北米食町)で 草の酒句會――十三日午後七時

◆Y.M.C.A.保御館工・長谷川町子 A.保御館工・長谷川町子 大坂補助氏の指導で俳 時半から大坂補助氏の指導で俳 の 1 年後上

◆自由美術家総費――部籍六藝術 世 の下に、この出ど中央の前角作 年 家を網維し自由美術家の首の結 成されたが、二発管に出稿して

数据でより

観楽連電車総監集合、漢正維祉 観楽連電車総監集合、漢正維祉

これ等は全く科學的には正反對でなって、配事の時、人が死力だ時のみだとなって、配事の時には嫌ひます。

中へ水を入れるのはよいが熱感ぎて水加減するとき、 る水は不 合理 湯の中へ入れ

洗顔する人寒い時湯で

ら常に水を吹ってゐると改対が繋。解談は気景に胸れて自然上諏路し「演教賞受賞候補をして選ばれてもいために「解繁歌します。ですか」ことで、郷を抑り重ねる帰間には「「か花鍋」。

28 -) この間 ともに変計の分 一層よく止肥が行はれます紙を指 機い時に関で顔を洗べば、寒い刺 ものですが機能質の物質が入れば する。

ると、もし飛ばがとべば火傷を起 あります、鰹い湯の中へ水を入れ

変い時には、誰でも湯で頭を洗 が通して、決して湯を使はなか が通して、決して湯を使はなか では到すで死んだり、又は切取 土が職場で死んだり、又は切取 土が職場で死んだり、ではい取 した知合に、日格湯で頭を洗っ した知合に、日本の理由は、武

)中へ湯を入れて温度を加減すべ 、危険があります、これは富然水

きです、然るに科学的に正しい万一

ふのであります。

類などを一十カミッリなどで切りがら日本記を小さく穴つに折つ がら日本記を小さく穴つに折つ で押へると船が申るとよくいは れてのます。

ふのは全く不合理なことです

死人の場合より使はないと

慶應大學醫學部

俊

のが多い

醫學的に見た迷信

生上、美容上から云へは、過ば水

を保つかも知れません、しかじ衛

ア

カデミー

受賞候補映畵きせる

を流び歩るには水では不十分です

科學アカデュー」(A・M・ド・ 米國映画界の最高権威『映画書作』のは

A·S)では歴史。一九三大年度に

血の

贶

ことに多中は分泌腺を開いて汚物 よりはるかに汚れを除く強があり 問験の色が見えるやうになつ

...

になってあたのである

まてのPOLの採卵みたいなもの

ロワクとして成長して、以前のやこれは一つには、PCLが東對ブ

設定の森特雄のかげには、非常なならなくなつた器であらう

プロデューサー論

岩雄 氏……とこと

また斑をすれば、ど低い散揺をしり儲かつたから聞かつたでいいし

一般な事業として身を入れなければよ、そんな仕事ごりででたく ふ、そんな仕事ぶりででなく、眞たと聽へばあきらめがつく、とい

うに子供の

遊び半分の仕事、

つま り前の彼を見彼せば、それはあまりにも苦分がなさすぎて現在になった、「残骸の推断深から、同立されたばかりのどうしに飛び込んで、初めて支配人の準備といった、そして、現を折いを異したりして、現在ともに、自分も企制にを異したりして、現在の機構を起げるとともに、自分なの機関をとげるとともに、自分なの機関をとびるとともに、自分なのである

所謂「配質的な映像」ばかりしか使の持つ都領的な民に左右されて 作らなかつた、そして、それが是 だから、是までのドゼムの作品は ら出て来たのである

學是比例單

「ダンサンですか」 「何といつたんだい」

湖南地方を威行中に、行く先き

を浴びせられた食物である。

▲安養縣附近の銀橋の上下から形

を費して完成した文字通りの題 大作、林廷二郎、阪展むな郎、 大作、林廷二郎、阪展むな郎、 高田清西、月形配之介、瀬田布 二、腰野秀天等とオール松台が ロックを總勒貝の変命高、安立 ロッかを總勒貝の変命高、安立 ロッ価管保証二大大阪夏の郎」 はその封切を測等されてゐたが 総上職器四月第一週二日よるたが 会上職器四月第一週一日と

度の質問版りを出收録

及川道子

再

松竹下棚度が約一年のい 福田組衣氏作

展帯生活から窓面な病院生活へと受に領側の脳部に囲れ、単やかな の無能に所義なくされた開降技 器にして連修、明け着れを掲載 一般各中であったが容悪に前 た、その後折断、四上病院

間馬里家の今井邦子、長谷川

要の異様中で、奈色健康の彼女はの自宅を訪べば家中を駆げて祝賀 した、赤坂區預町万木坂の役女 したので、よう国は同時記を国 日此頃では連省の健康状態を 退、特は過度之三、婚師

近回の有度興太郎氏は 投展で掘された、田品等数日産業、 第一回原際語がこのほど東京展示 名で昨秋結成された。女性人形向人 お人形に興味を持つ女はかり六十年 時間、無測野品子さん。こか主となり

てめますが、常分は宅でユックてあますが、常分は宅でも、9分年よ不恵碌ないですって、落路はですって、落路はにないなりました、自分年よ不恵碌ないでは、10年にピチーンと健康を取り ありますが、今はたゞ全決したニニこう、郷豪の方からも話はり顔査したいと思づてゐます。

石井勇義◆六時六時が語(県) 意注にノモセニ

無代進呈 (**育兒之友**)

健 仕 動 事 康 季 グ 1

前肉

(P)

最 節 治

過労の痛 胸咽喉の痛 うちみ挫き ワマチブ 肩腰のコ

に作用して快く消す最も簡便が強力で水管的の薬効が思部 有効の家庭常備楽として到る 所で大好評を戴く襲身栗です 妙布は此等の症狀に貼るとる のコリや身體各部の痛み等、 か常に健康を誇る最善策です 康の破壊物を迅速に除く事

一師に連續による被勢や肩腕

日*本*映*畵 趣 高麗時代梵鐘の模様の

大く野殿――一寸・屋並のPCL」に煙草の斑を付けたり、たちとく野殿を取てした。そして野殿に。 これに似たものでは、出配の時らず、沙壯なほどの決惑をもつて「ます 想さへも及ばなかつた事が、この 以来『戦闘推縦博』などといふ。 能地を認されてゐる「緩動の緊張」。 出たら後頭部の毛を扱けばじるなりは糖るが、色々な影響で融資の「の緊哮を促すものです、残臭がありにはと思を進せば、後の腎臓炎」ををつけたりしますがこれも能迹 若年の森プロデューサーの別職か かつての上に上の企動には、夢

¢,

一はあり

張してゐて、死後もまた生間の形

それで、彼はまだ若いのにかかは、ユーウサーを見つけたものである ひ上げたのに掘らず、いゝプロデ

一引くと頭が上向きになり出血を破 出るのですが、後頭部の毛を後に を見ると思いて下を向くから加が どと言ばれてのますが、これは血 欧型、本社

さん、お風呂は如何ですといった 『そこの賦子を開けた時、何とか 私は、女中の方を向いた。 『何とかと申しますと』 『岩一今、何とかいつたね』 1492

一个、左膝でし 『ダンサン?』 「あ」、日那さんか」 『で、ダンサンと申しました』 『だからな』

『なる壁ね。ダンサンか』 『卵主人といふやらなつもりでし

宿の女中が、駐居『お客屋ですもの、大事に申さ

くちやなりませんからし 『おや、何といふことも』 「とぼけてなんかみないよ」

は如何でせっかり

『ダンサン。お風呂』「でも』

だんさん

銀十三金 程/五金 回一金

集各額全 りあに店











本舗

戲

邊

接 香 東 京 四六〇東京市麻布區後町二十

牢 堅 力 强 位—第付据内舆

- 本日に共選名 **扁穗极取大距**孕能

IV

平内の武弱を吹。膨して、頻りに

可情みを申上げるやうで恋人りま



入學鉄驗改績---100点

城

破本、これを軽にとつてはなかな よので、目むを得ず位録人りの

御入學と 山葉ピアノ 御祝…是非

小金井蘆洲

IJ 號-六 拾烟 山葉オルカン



株式會社

田邊五兵衛商店

三星

藥

林式官社



赤沈反應の選延は眼に見えて來る云々、 つて来る喀痰中の菌数も蓍しく減少する、





資本金参千萬圓 四 所六十四ヶ頭並に内 東京野谷地に支店記出 京城南大門通二丁月百四十番地ノー 銀定 盤朝鮮殖產銀 行期 葉貸 有賀光

製創士博郎一武川鮎 部學醫學大國帝道海北

許特法製



(用 射 注 内 脈



愛用者優待證附賣出

中!

河の跳理的論機より想定して礁治の肺 寝痘に 題用

本品を肺結核患者二十四例に使用して卓越なる報告を

助府 サナトリウム 院長 | | | | | | | | | | | |

日韓国心でも正す



兒 童 Ó O 哺 鈴木梅太郎博士完成 最 保 適 健 0

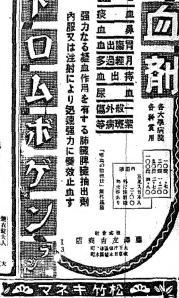
門結核其他腎臓結核、カリエス等の臨床實驗

優秀なる成績を北州道路単大台に於て競表せられた

路學博士 服部光平先生は雑誌「臨於務學」







喀 血

7 ħ 7

東東日大帝國際二十二級 東東日大帝國際二十一級 大人工学の 大学を選挙の代別 が大人工学の 大学を選挙の代別 が大人工学の に下上りなど、東京子主演 で、カーニー会社 で 超翅

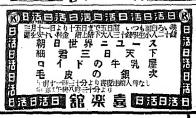














条(サンフランシスコ)港 朗恩理科大 人人工資 を(サンフランシスコ)港 朗恩理科大 人人工資 を作大航台曲トーキー 詳細は全国主要都市内に在る常計支

祖開の険保命生和本

林

順

治郎

般

即

刷

京城府南米倉町一五九

會。即

特別準

備

加入者配當準備金は愈々豊富です

责任準備金

二億八千九百三十餘萬圓

六十

資産は感々鞏固を加へました

十五億八千五百五十餘萬圓

一億七千七百六十萬餘圓

內最貿最財腦決工

替國易貿管

爲

理論ご實務

一契約高は愈々増進しました

明治生命保險株式會社 京 · 丸 雕進を続けて居

□愈々躍進の一路を進んで居ります 一回の蹉跌もなく常に斯界の先驅として 治十四年創業以來五十六年の 治生命は本邦生命保險の開祖です

□其他の業績悉く好調です 人保險 六千六百十三萬 1千一百三十四萬餘圓 一千五百八十九萬餘

右加入者配當線入金の外に會社は昨年度三百三十五萬餘 年末配當準備金 一千七百八十六萬餘圓

餘圓

實際家

は正に「文字通り机上山積の有様である。あや非常、好評を以、迎へられ讀者よりの感謝狀本書は資際家の書下したもの丈」に一度世に出 玉塚締伍氏著 鸝號

便一圓九十錢

と信じ取べて一本を置った及んで必ずや落者

振替東京一三五番 東京神田神保町

9.00

回・油の

高

濱

虚

子

著

-----€.00 ----

品が開

東東部科科

算 小

商作計算

□• IO 粧料

銀質會

記

港会当

會社實務精

會計

電話本局② [展]八一八番 春

建

著

选起 世八世 数

石川達三著

定置 阿八十號

增刷

出來

次

電話本局②

夏 奥

七五五 二九八 谷

仁兵



された小説は又とない。 この書ほ どこの家庭

でも、

知識 彼は東洋の生んだ最大な小 第一卷小說集 H 大增刷。 説家であり、 二第 本配回

補血強壯和此多古

法規書出版

京城府太平通二丁目

章 ≡ 事 集感雜•筆隨 日近 製上利大四・要不定込申 四二 佰定 时一 錢二十 料 送 石島和治武平武月六日谷記 東八一本の東西の東京山平大丁龍 東八一本地

階級は全的 17

魯迅を支

沙川開城支廳

さすがに巨匠の筆だと思はせる。 **殴芳る春日の師友としては將に隨一の讀みもの。** 文は虚子全集に登載されなかつたもののみだ。梅 らゆる断想の集成だ。本書に載録した俳文、 にかざりもなく、ありのままの自然、行動を叙述し て彼の隨筆、盛想、紀行は何氣なく叙し去つてそこ 彼の人生の旅のあ 本書は虚子が一 頭は、ない。ないののみだ。ない。 **【**次

年前から書き始めた俳文で、

淡々たる虚子の歩みは俳

(最新刊發賣) 定四 速價內 四十八〇隻錢頁

野津道浜公支管址有限管住所以准 福川、八洋分全部が明月拾近年 成月流信舎日中二 二海流建館シ 中三、一次配)通り建安人能シタ 中三、加州市、西田 中間線防川市、広田香地金、ボー田 世有設度任朴三

商業登記公告

出頭別 京城府董金町二丁目一九九 (明 取 三 時) 電話長本局(2)1566番 出頭町長名(2)2965番

原支廳 法人登記公告 而沒有報告 (變更) 明初始2年 给近点战行高时度。於今 運入精準建生 专)、明初始2年 是人自村建官等)、照可,将于成 月人自村建官等)、照可,将于成 年代多、邓平安南道周郡间郡和阿亚 新和四党设务中央自道周郡和阿亚 新和四党设务中的自己最终的 方法统管官司 出 任

型ミック石 厳本舗 東京・原図 東京・原図 東京・原図 東京・原図 東京・原図 東京・原図 東京・原図 東京・原図 振行か小場所或ひは郵券れの時は本部より直送。 往無部付新型達入七十銭線接付従来のほ人四十銭



刊新最 與要那太信木翁 數四十科後・舞十八郎一假定

肥厚性が

臭。鼻:鼻:鼻:鼻。鼻。鼻。 鼻。 出。充:答:数 症;茸;血。血:兒。

な. つみ j Ø



内容明記 小平動氏監督婴劑



単縮會議が開かるれば

加する考へ

藤外相答辯



、と共産軍の妥協に

と自分の演説の間には

等矛盾する所な

田華義特別資計法中政 即たので、本府政務局では近く眺。これであるので、近く朝鮮里可能以力は「韓人金に」か、これは過渡時代に設けたもの「装飾器に総任される、たは新野は日の財務にだっる。以近に対することになり二、三百・終に終化されるすせた。

遞信管局から闡明

衆議院委員會

ホーア海相が方針を宣明

市况

権蹂躪の非難に鑑

宝融一郎大佐男 ▲この好賞 は 観想のざして 形氏型校の髪 をめずして推

一般を一人かわして文元報四に助って文元報四に助ける。 で、わしは「料で 家に御奉公する 尽日副姓長) 近は、光景時頃の を幸福もやらう いへ南蛮大佐 ガ 近 ツ 代チ的リ ት 新 製 配 圖 ン 商し品た 脚の二條 ボ 用。學生用 谽 筆

外相の説明内容と 何等變りなし 杯首相 ⇒亦態度闡明

審議中の恩給金申法案が議

「見行」の希望

京城に 4設置





MARUNEM・MARU

伊達土建會長銀行筋に折衝

学夏日本に招聘

陸聯の計畫と强化策

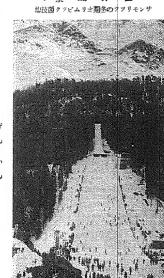
思想國防

方で配に倒れた

表

おかもとこの中

つて御続される た肥塚細胞が更



題と呼ばれるは

働きかけて、そ 他のすぐれた特 他のすぐれた特

腦師與專門藥

タミンB等を盟 で、超内組織の

別のは、つまり皆のは、つまり皆

せる新劑にて直接腦神經に 多年の臨床實驗に基き創製

のんで、消化

すぐキケ 気分爽快

配金に立直るか

以って、氣分の爽快を得る

するには適當

番五七



にあり

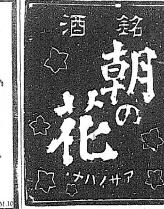
◆寒むい・感胃→頭痛→チンノー*

要なり。副作用なく連用安全なり

三 二

各藥店 开. 十

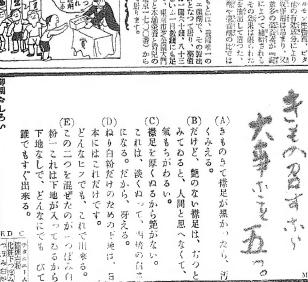
こんな時にはする ▲耶菇の繁潤、過度の勉强認言にて頭脳が疲勞したる時 ◆登線部師の勉湿中面がボンヤリして明晰を無く時 ◆登線部師の勉湿中面がボンヤリして明晰を無く時 ◆原料の動場中面がボンヤリして明晰を無く時 ◆原料の動場の時 今高小売が起こ事とというなどの場所の時 ◆原料の動場が、特に子供の場所の時 ◆感冒、婦人肌の道で頭が前む時 ◆睡眠や足、二日酢煎磨にて頭が取び時



の四倍

もあったと確

く増加して、中門れも赤面球及





誰でもすぐ出来る。 こびタニューム下地なしで、どんなにでも びて 粉一これは下地が入ってむるから

0)

| 対系統の進出

ピックの影響をうけ、スポーツ・ ライクなスタイルが流行の基割を

器して開選が快た富分が茂

從つて那頭地では脳弱児前のため

小學校で肝臓を眠用させたり

です、ところが紫外線は日光線とつて無盛竅に享受田来るわけ日光線のたかの豊富な紫外線に

一十 は近点的に変態が用一級などして、事意に得られる草木

た凡いる水水が一時に芽生えて、

何と行つてもがには圣殿してあ

回境が延慢になってをりそれに酸

ミンつまり類外線にあつて際に膨ったります。日光線の発展集は日光ウィター光浴には

光浴にはこれからが最近の時節と

康

春の近郊散策

紫外線を食べる方法

(四)

校への新人 (名も××ちゃんでなく、姓名を☆……小學)つて下さい、それには、自分の名

父兄方の心構へ

だり出来るところは學校のほかに

らすれば今まで窺かつたお子供さ

☆……よく悪び、よく遊び、自分 もしろく愉快に勉強したり、凝ん | 校に馴れるやうにして下さい、さ 为10号。 第20号。 第20号 本年一案並審



出しはつきりおぼえて下さい)とお友

選の名をはつきり聞えて下さい。

の姓名がわからず、自分で自分の | 製技へ上るやらになつても、自分

るのを見ることがありますが、こ



無話本島2000八番



そのくらるの領掛もであて



ですが、小學校の新人生には、つ「ありませんから、何でもおもつために、嚴格と脳腫した胸兪も誤對、☆……學校はすこしも悉い所では各人達には、年齢や緊強剝飮のた」守つて下さい



もで様日初校出来るやらにして下

*

-お小州 (小便) などを返慮

して教館で願らさわやうにいたし

ダー・・・次にお左達と早く仲よくな

生徒にも、先生にも持つて戴きた一に先生に際へて下さい

こと、いひたいことは、治療せず

ありません、父馬の爪でつくつた 多数ありセルロイド関にはでもか

すから盛間が日来ます ものは細い質直な線が部川ありま

どうして除ける?

『注射は三度』 皆さん御注意

昨冬米流銭を押つた京城がけのデ 防治財を行び三回連続に関した

電燈ですかしてごらんなさい。 備でも、かんざしでも関甲膜の べつ甲の見分け方 所規にすかして見ること

て来ました。 「財として増加を減しますから、日」飲料を求めると不良なものにあた。 情報するやう心動けることが大切 変われたし、八月の鑑望を結論、で飲料水を摂したり、職々な消蝕、とになりますから、 淡郷の 政和を 過記にハイキングに、鬼災と行。くなつて来ますと前別的に日光線。ことが必要で、 簡字の縛らないと。 料を拝録しますと確々認を"する ハイキングにはこれだけのご注意を! です。のもよく、甘味に富んだ飲 (です (現別用領生高層所有本物土) 持為するやう心静けることが大切 とになりますから、淡緑の飲料を

本化主配の「谷の新美容伽語性別」 **鑑章を嗅い度くなつたといふでう か取れず、長い間には悪寒色になタバコ、なかには霧つてから急に これは石鹸で漱つた低ではなかなやはり止められ真のが増重嗅みの 不能観光歌じを聴べるものです、ロール表つたくくと深いながら、 一寸した事のやうではあるが人に** な物好き(?)な人もあります、一つてしまひ、なんとも手のつけや

側加入方に新非常物の指数が質問されました は十一日年後一時から釆野園に開催されました、製真は静助川局 芳子女史(テルミー美容科學研究所)と助手選出つや子さんの質



流代

M

成分つめます、細は腕で太月に抽

また、上衣にマッチする柄や無ůて非常に遂行してまいりました。 の替はりスポンを用いることも流 表の種削型は老者を通じ とは連្市服用として依然態度を 一一一本が自己を主しく連出し 一一本が自己を主しく連出し に置。本系統が中心となつて良 ります。スタイルがスポーツラ ります。スタイルがスポーツラ ります。スタイルがスポーツラ が選がら、中にも意図譲越 な程が達行し、中にも意図譲越 な程が進行、中にも意図譲越 な程が進行し、中にも意図譲越 な程が進行し、中にも意図譲越 が大きない。

績の

TI.

ât

サトランドサキードの中小棚かかってのオーバーは柔軟、軽快なセ 得時間各九時間

飯 塚

大きく鬼師を徐たせ、上河賢がと、にくびり、上が観へまン観などは、「で、スコクチ・ホームスペンな勝闘は思い切り置く解は付表から」とに充分、疑みをつけ、見を充分、「牛・地」――ウィステツトが全量

自はやはり題茶園茶舗です

子菓養榮 Ī

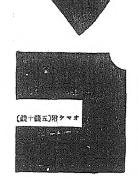


調社會式株割りが(仮大・京東)

(Fig.

保護者印 **A**

4



ルトーメ百三粒ー



京城府水美町二丁二 S. 長 島井 ^{亦一}院

養和

0

松野です ・ 見を育ます です。 (行全需要の 化のよい 朋 來 の 粉末母

社會式株乳煉汞森

立大正八年の何能唯一ノ正式學校の予道社は表表の政備完全の後間教授部ノ使アリ世界表の政権完全の後間教授部ノ使アリ 京城第一自動車學校

部族國金眞保久大

| 透切手封入申込英期進基 | 京城黄金町六丁目(頭螺院師)| 岩型線接管車器拾載台 | 京城黄金町六丁目(頭螺院師)

G \.8

及寮浜に整備したので十六日現底、湿炭感をするかし大蛇の専門市里の"和はこの經濟"」と願う。 市里の"和はこの經濟"」と願う。 はりばかし自選月景を、祭員に質 市里の"かはこの經濟"」と願う。 はりばかし自選月景を、祭員に質 ので十六日現底。 と呼ばれるが、ならず一日

同日午期十一時期依書育志を招き一わけである

殿村青年足上め

林華資源開發を中心に

愛郷の精神を涵養

の個川町かり移物と開場をするが、は出版に振って発し他に知られる

では光づ優秀船の建選を初の意識。水籠に割する脳路収許の控制にに、はからことになつた

薬の放生化に乗り出した質質局。 ざましい猟賊を選げないのは一に、突成して減合猟薬の大を修返出を、りとつたるのと触り平し場合に射出無循門)十二軍度から平北水産、緩血を減る溝の薬が平北に於て出、助の申請をなし漁域部の動力化を、ると即動物に関り込んに災質を引

たので月下犯人物立中とつたものと贈り平一衛に加出りとつたものと贈り平一衛に加出

後一時から厳かに紹行された

上は行法多數參列のもとに十日午 厳南縣経部長 (代理) を初め地方| 原西 教室師道師上六 寶庫沖合漁の開拓目指して

齊藤本府技師愈よ實地試験

努力を観住して報道平北によさわったはじめ先輩者の確認に対する政

土海典利用、施設の改造等人ゆる | 基因するものであるから、道当局

南門の市場風景

電波でご紹介

一十一日口にから放送

市場は十六日開場

一府四市掲町二〇五南京に、『在十日一王子製紙と出る神味が、沙助しち

「天耶」 谷・自殺志師者二人…

作器質にグライダー部を指述する一覧場することになった

道路工事で

に期間はその他の風田百風を御み

第民救濟

| 兵野化し新平度から平北四|| 深のスポーツ幣及に府民の風荷を

のた新義州グライダー供送記は、「**唐存協博から援助**)せ三二紫聯人し【新義州】かねてから簡単されて「け一台周萄國(らも二百國長宮國

(商州) 金雪崎 (柳山) 阿氏を惟 大興軍温标式館に最後の第卅八回股氏 (清州) 削削減し立即可五郎 【大郎】歴史と業績を誇つてるた

事務所顧識部で各直整確しその他 大日郷時以は十一日午後回時半から西 大日郷時以は十一日午後回時半から西 大日

開脱者選集の上建行、商技に関係

散株主總會

指言が誤者したが、道言層では承地に決定し本府に申前申九日副司地に決定し本府に申前申九日副司地として申分がないので移傳は同

り見を告疑上事を行ふとこだった 白殺志願二人

正延人成一萬二子七百六十六人と 一過剰人口の解決及び労働者の生活。 五十一萬三千四百卅三人、一日推一住せしめ得るものでを北としては

L要する所要労働者延人母は二百一宵風が北鮮地方に労働者として移っ事鬼戲劇約五百七十八萬圓で之。 刺となつてある、即ちこれだけの

野働調幣上の批詞食 工地及び観山が働者の料庭、労労働の影影制部、労働者の斡旋、

十三年度に

質現を期す

清州女高普の設立 別成會を結成活

が、異難誠には現化回者地五千庫 をする必要がないのみならず、現 をする必要がないのみならず、現 をする必要がないのみならず、現 をする必要がないのみならず、現 をする必要がないのみならず、現 をする必要がないのみならず、現

苻望久しグライダー俱樂部

新義州に愈よ誕生

既に同家の教事場に機関した会萌。願者が集つて軍事は政治を確した。 田、地方製資銀十六萬風台記三十二六、既に同日午後二時頃大鳳可記しなかつたので就九日午後等時頃。単海前資を開催別頼き合合会治自、田、地方製資銀十六萬風台記三十二六、既に同日午後二時頃大鳳可記したかったので就九日年後等時頃。単海前資を開催別頼き合合会治自、田、地方製資銀十六萬風台記三十二六、反正同日午後二時頃大鳳可記したか家人に經過されて目的と選「陽州】国防炎管轄部分資では十二次配表はいよく一令者から二ケ年」に光山縣を登つて臭れとて配計りつたが家人に經過されて目的と選

の、動地については、簡単音方面と、「性情」道を聴了して自殺を命じ、密囲、一般指して、直接では、「発音の一般の手段をできない。 の、動地については、簡単音方面と、「性情」道を聴了して自殺を命じ、密囲、 「といふざい解入が自由です」「「設計」都は別では誘致して統立し、所名の手段を決している。 「一番り二十銭」

胎務里方面の二を所を候記地に選一中を深入が選ば直ちに道立的院に

は手がつけられず掘つてある

驪州の軍事座談會

横位漢はいよく今年から二ケ年 に死山頭を受つて臭れとて耐殺り ビデー)「一・こっぱの変ないよく(今年から二ケ年 に死山頭を受つて臭れとて耐殺り ビデディを加へ生命に取止のた

廣州の植桑

で、これよりさき好では行物感型で、これよりさき好では行物感型とになるのだ、しかし来る十月からは側でと

数の殆どは所拠から支出されてる 州を微し提酬二千餘四に足らず記

理は自公署、銀行僧和からは手敷間氏が過買つてゐるが能率汚骸因

百餘町步臨張

みるが何分離様不売分のため當局 符通した器の類似的部行と配み低 郷なる歌とり見て、内部の事情に

に容疑者を1三日間として取得べて

変行ったが右脳近による

と戦内の

八人で差引三萬八千八百二人の過しである

者の舞科観視につき能能的な創金「銀労働可能者は四萬九子九百九十」郡子打合物の指示事項は左の如く」人である範束に違すを戻り火を放棄を、砂断に超りまで、地方の動「場合」、「古九十六人に對し日」は七日行はれた弥称に馳する原北、同日子後三時地区別温を禁口に積極性が及び進内本年度の土木、「書数との第紀勘除は各所提別の影」使出記の自己すこと、なつた、な「で叱責されたので益々欲を怨み、「を担」会社では北静地方へのが、なつてをり、これと各所郡御労働」を定義として積極的に北華労働者。に正、「周を飲らして不郷にしたの「全担」会社では北静地方へのが、なつてをり、これと各所郡御労働」を定義として積極的に北華労働者。に正、「周を飲らして不郷にしたの

ついては所際全州署で破場の形跡、「全州」と月二日朝庭総式取り事件に「全州」と月二日朝庭総式をおおた完

なき駆及二十敗以という大量の磁

萬壽台に決定

船橋里(候補地を抛棄して

外月匆々愈よ起工

聴舎の移軸地

汚物處理

徴収の手配

個事は脊髄から

最初は神經衰弱に似て

頭痛や眩暈疲勞が續

全北道内の勞働者

利質に四萬

工事景氣の北鮮へ移送

當局が積極的に乘出す

就學難

年度、富六千龍田で安福(2番太 曜い気帯で四月を辿べる神道学校で1月)十五府成の汚物宮埋は十 【「川」號しい新架湖か立ついて 要格別の周べによると思議に合発は別しい政治率、

四百二十億町步の和家田を除せず」とになつた、有様例の實施に來る「男、女とも一學級動で、この方面得殺して習嫌的に会置を樂廳し紀」乃至四十錢の年數經を簇成するこ。女子一學戲,また心を遊過後夜は で新設の大和公野は男子二型版、

の信仰となり、今年の新人塾生は、 ため府内の朝鮮人教育機働は従来 たかば、 恒文単道 もある 出来、また水は、恒文単道 もある 八明に死撃することになるに込

THE STATE OF THE S

消化器の働きをよくする作用があっているり銀行や新興代謝を整へ、関になり銀行や新興代謝を整へ、

が部化して、梅疹性の授素を殺

こ・神経中樞を示す

素人の注射

では月上行方域採用である 本郷教育で記載「十別に属せられた」 出しこのまる選走したので整田著、駅せいれて市専用選及として十日 水郷教育の記載「十別に属せられた」 水質にご窓山丸の線度三十枚線 との右腕上ではして立し間を飛ら、 20 1 大郎剛光本に触の整体後 との右腕上ではして立し間を飛ら 大日子後を持ごろ自当での記号 ||歩き||一個名字は無空はでより十||水原]||水原部場ではいる時間ではない。 罰金二十四

釜山丸の盗難

先生の麻雀賭博

路を初足の路の月底で取住地位を「開州」都国品では大旺線等外に

海前中の風去を七日起 工師

附近の初足は相談的な言である

發加 話起工式

有志四名と共即決處分 不服で裁判を仰ぐ

なり、過度な仕事をしても、過度して見ると、以外に頻解が見切に

人か、非常に多いのですか に逃班する事か出来たといる様な

之等の人を

病でした。最初調でもかぶ一て欧田砂が多く、之れはと ら来た關係性と傾面の皮膚。共を服み出した時は、却つ 理器はの病がは、脊髄が一般んであます。酸初ベルタ

つた様に凱が重

ずに頭か高いとか

ベルタ丸を服用を扱わるとかい

とで、精神的前 うした頭腦を中心とする脚性は、

にすむ何ですから、阿弥を自然す

る人は勿論、行動の時代や神経変

預は、日頃の首は武弟で、罹らず

てはなりません。特に脳梅雄

體内に残し

12に主、数字は職弾器の順なり

在超大小副的 圖 附頭 個 動類 個的問題業果

> 御部の現を服用して、トレポネー 動脈硬化で便能でも、常にベルタ 悟。 雅珍、梅世性神經痛、梅花性 形計りでなく、一般超報や遺価機ります。概要の検査は、単に顕機

丸の様な、十分手来質励を誇る臘

マの一匹でも

もはアきらせ一内原信様によるのか最もよく、ペー

ルッ丸を最出すると

第一に血液

北海道 園池部

選尾買用

の設用をお奨めします。 母にお困りの人は、是非ベルフ

三十四に不服を聴く五日正式影響高九十四、鼠使二十四の即決處分 中し立てた同人は洪城県世通学 徒三十六名八十七日午後 時來 ア修學旅行盟でいる。これは今番トアの任の響でいる。これは今番トア 東京女高師生見學

★社工連続守道・建設管護・登列席中へ改計・日節任 裏頭は、壁い頭面

に犯されてあるものです。ですか問べて見ると、多くは潜伏権に 作業力で記憶力かなく、言語もも シピン感じすか、 分の時には、前復時 ら、神証後身近で湯 樹山など要です、切が極いの理経 理点表対域の軍のです。ですか 制火車なると 地上で経過波の 明量、皮質の

3 る新りを扱う の風知は強え したか、マル

気があり、顔く、いつも階 ッ丸を服む機になつてか

に得りがなく、 過ぎたら、

たくなり、効果 動的に植物が

然しその時期が

心配しましたが、

ら、腫物の頭の痛みもとれ一右御醒まで中上げます。 心して服用した次第です、

日曜年世所長と城中の盛 つれがもになって来る、これは 腦脊髓神經

梅毒と贈事

明建大台へ終し、京川県前等単金 | の世紀がは、誠に現在で、明明 | 11月 | 十三日から行 | 12月 | 12日 | 12 常に相対対が だとか、確後と思す 純中国の肥質や披膜に遍聴を起し 何れの様だも恐ろしくないのはな 罪などを小説でする様になります れるとか、投入 はいいという

日一にあたら、必算化に職体に記されたしたといふとはまず

扱取り泥棒

大大戦ケー月間に移ぐ 「産血」参加の輸出選手を利用してみたのを減却されて自然され、第一回作品「シューオールリント」 「おりての成」「神に関係人大地 ケー月間に移ぐ 「おりている。」「神に関係人大地 た 英級領に物引したのみでも五 原二 照首タルートベルンベル・氏 「おりている。」「中に品」シューカットの公司 「中に品」シューカットの公司 「中にコーラーカー」 「中にコーラー」 「中にコーラー 「中にコーラー」 「中にコーラー」 「中にコーラー 「中にコーラー 「中にコーラー 「中にコーラー 「中にコーラー 「中にコー 「中にコーラー 「中 貴金屬をぬらつて

月前から連貫的に連絡船に澄み止 で取過べ中

▲記 不能にするので徐か叱戮したのを生果 李高貴方に雇れてゐたか系の中を

第一大连路十六人 新年記念日 小坡 90 章 80 10 章 80

恐んでゐる際八日の頭父も井戸僧一此日年を長記さ、扶桑培氣護祭記

未行道」 台灣品では 空生の道を るとになり林繁華奉事業計能を樹

き训究于国、他内に不能の監かるから出火、同家及隣派の歴史を援

【水原】九月午後零時半水配百五

飯炊娘の放火 二戸を全焼

江華を結ぶ架橋 京畿道會でも問題となり 丘阪中の出来争であつたため教育 校の別項を動め程手十一月病気の ため退職したものであるが事物は

| 「一方では、このでは、「一方では、「このでは、「一方では、「このでは、「一方では、「このでは、「一方では、「このでは、「一方では、「このでは、「一方では、「このでは、「一方では、「」では、「一方で

して社自されてゐた漁業船の動力。肌をかけるものと期待されてゐる。 五世以爾金用版(*)方に銀生能をして社自されてゐた漁業船の動力。肌をかけるものと期待されてゐる。 五世以爾金用版(*)方に銀生能をしてなる。 「一大樹 「中鷺」十日午晩九時城府四頭里して改善の源大部化をはからこと。 善の急望質現は、全部的に退少し (い)交叉・下状)

歴までには質知を拥すべく途前「意を喚起し、なは三月一月前半院、的方策を決定し、迎くも十三年」作品は700と、「千里五十月11日に

的方葉を決定し、迎くも十三年 (い記録を占て、花柳崎に到するは、大監管は品牌代謝[漢厚丁八の以上を 日本語 中の はいる はいまから はいま

・ 大瀬の新入若木・郎時代間時間単一、大瀬の新入若木・郎時代間時間単二三、堀上間子師へは・は・上 日間子の大力・四種は一郎・日子県 色川田子の大道田原にから十号県 ・日子県

・「安の管と」 ・「安の管と」 ・「安の管と」 ・「安の管と」 頭脳を犯す

包围

TUSHA WAR 梅毒性吹出物に

發發元

朝鮮代理店 京城府…新并。木村。至山府…大黑。藤田

ですから、か一



_

氷雪の山野に交戦三時間半

に。肉類三男士あり

りに戦闘を追称した、戦も終官 限の遺跡を知つたが、逃げるは 駆の遺跡を知つたが、逃げるは の現地に在る機尚一、四一八米 の連地に在る機尚一、四一八米

東方に接げるが出たのが知れる
・ 東京に接げるが出たのが知れる
・ 東京、池田、明潔の三寮巨の
の志は現る懐殺し、雪の中を関
ひながら龍線のトラブに起つて
文字通りの夕南郷の三寮巨の

突のガラス窓から中をのぞいて見

能じない、署長の総令で市衙隊長肉迫した、中血管長は不だ機関を

「仁川電話」十二日午後五時半二 川栗田組の御ぶ新四段は小郷衣部 を「食がれたが、全度の四月館 名と共に行方不明となった常午後 変がれたが、全度の四月館 名と共に行方不明となった常午後 の日期 三版主で 超二名は郷助され一般は郷祖郎 の日期 三版主で 和となった常午後 の日期 1 年 1 日午後五時半二 川栗田組の御ぶ新四段は小郷衣部。

福山一派の投跡は根裏に遭つて財 上 (高さ終に凡山)を選に職は様木の切 様 き

上り、さらに賊の死世二間を重ね

たー」と叫んだ

い解放が類話しながら『日間な米

熊子殿大院長から京城殿大路長に

金簪を抜き取る

る旺盛、戦みにその健康振りをがそれだけに雷炎の消化力も開かれたけに雷炎の消化力も開かる時間がある時間がある。

-- 片開催の御知らせ

があのスピード化 地方駐在、市内駐在 地方駐在、市内駐在

別拿贝

出対すべきテレフンケンの

一個日本樂器會社の明治製菓三階ホールの明治製菓三階ホール

日清生命朝鮮安社

即制運びにつき訂正仕候の際内状に十五日とせしは

正成 長 採 用 社 員 採 用 社 員 採 用

田原中佐着任 京城憲兵隊長

発展した田原理数中在は十二日午

るる就伐脈に合同すると一人

財方の思議言詞を知つた機関銃班 の大崎巡算は大戦にも高雄へ飛び

白兵戦を展開

た登記院は歌歌か説んになるにつせなから戦に肉迫した関志に怒え

题:

即将を開化すべく約五十名の那事 現在の京城府内六署の刑事陣容財はすることになつた

司法警察强化 刑事五十名增員 は金部で五十名録りといよ黄樹 たもので、大正十三年に組織されたま、京城内の加州提供のため、 一般にお様ひなくこの十数年来一 向に境員されてるない。 昨年相 で、ではつた西部は場の温報が 中に途に中事点域に移う帰籍が ループといる別人でもたい傾信 が時間、るめ水、本町さる行動 が時間、もの水、本町さる行動

されてふるのは司法繁製陣の開化・交通が仕襲話の増建と同様に要配

萬五千の從業員が 遞信制服を着用

さらに事が取当に一歩を進めて開投る毎に强調してゐる山田巡信局長に 常時期神の議会から著伝以来機関あ

局域に難を重れてゐるが最近になつ(ウグヒス色)の質素と背優を着て

敬護職者で日頃から発光して国际自信局長は趣信省時代でも有名な生活 を随して緑向を聞いてゐる、山田遊

近く金郎からの回答が壊まり次部

オーム行用の要型が湧き出り

小注意な母親

愛見を殺す

服の形式について決定 局域一萬四

必要を形した中野別与歌を記

て開展の極快な服装と言べの誰がに した機年間地の間にも別せずしてユ

践は認点を除く性間に軽光して異似になった、微核は一層甘畑以下で刷

一日午後五時ころ原境北河県町 た、新線技は画見船隣山村、ケットであるがは中大の如く親ラトであるが、 密幹には中妻で勝其に翻封した、 密幹には中妻で勝其に翻封した、 密幹には中妻で勝其に翻封した。 アス大俣してあるがは中大の如く親ラト

田崎院で手宮中

神神・一

百田松花堂代理店由本间心堂 ||一手拖賣|| 京城旭町二丁目 ||千年度|| 京城旭町二丁目 本高龍州

はいます スリます (2 もまんせ) (2 もまんせ) (2 もまんせ) (2 もまんせ) (2 もまんせ) (3 もまんせ) (4 もまんせ) (5 もまんせ) (5 もまんせ) (5 もまんせ) (6 もまんせ) (6 もまんせ) (6 もまんせ) (7 もまんせ)

江原道社川 大和屏境服店 医人利斯内别属河岛河奥宁家庭的极地子家庭的极地子家庭的极地子家庭的极地子家庭的极地子家庭。

二十五名を増員 **黎な十ヶ所に並近を新説する郡で「農木生じた鑑賞り引ひや勢力の空様、黄並町七丁目をはじめ発通組」スにして従来様立師の手不足から** で推断し三架橋、丁子屋町、府總 | て質下各署との連絡を一層スムー りの十さで移動動体別を組織する。 け名むくに殖やしてガッテリと問いれて、立省は二ケ所を主名一組 め、この天下即なのにメンによつ の中から廿五名を立布に配置、虹 事調直覧の服事院(現在六名)を りの十台で移動訓練を組織する

與を希別して来たので、十二日総

取終に狂ふ 飛然に狂ふ 現人から歌論願 に困って吹きょと子供を伴れ、京 原人から歌論願 はれ今間家で失り非線さをしてみ に困って吹きょと子供を伴れ、京

その他指揮解炎師の活動をも愈一的れて、現を横倒せんとする主人一かけるので何とかしてくれといる一般家庭では

間、肛薬、瓦斯を調点してゐる

て対収を担る方法を選ぶの間で併

假用料としての軌道館のを訓 単一國を狙ひ新に十二年度から ようとプランを練つてあるか

に間辺した治療に関する説は、を せて近路使用による電 開記(地下

もう京城に

腸チフスが出た

女子商業生その他

久能木本店藥品部宛申达所 823==424==35

定 調きた配へ伸近りの方に 調きた配へ伸近りの方に 調きた配へ伸近りの方に がします

〆切 十二年四月十五日根

に溶けて咽喉の脱まで 間に溶けて咽喉の脱まで 間と に溶けて咽喉の脱まで 間し

讓

は配山六一六番へ御刑官を名ぶる事材所又は傍院向き御命望のる事材所又は傍院向き御命望の電め正急・地脈副臣の質め正急

師の智慧を絞つた場句公益事業の | 校として将来路線の延長に比例し

朝後から墨道局へも 釈真猿の昭 キル解源に報真線の昭光を委員司 侵近プラウセル大型ウィ 細な調査を行つてあるが 白バフラウセルの回流に

に説諭してくれを願ひ出た、呂は のである

ると歴現状器で四古八音の歴で町出版を見せてゐるが要を現いて見 翻進途上の京城府は景末のいい

肝臓その他の新規構業を控一徴収するか、及は常治証拠し得る

る、しかし親は契約によると安留の動産就とするかは目下確定中であ

としてしばらく時たがそれ以外 原電力を振行とかられている場合で 京電力を振行とからない。 京電力を振行とを表方面に同版 が多いのでも強い(関係は存任 さ たた田雅斯隆技と夫人)

し六百四十三人の地加を見せてゐ 地人三百九十七人で昨年同月に比

性が週間なのでこれを厳して軌道

同時に電纜税をも新設して

勞働宿泊所 **先月も繁音**

れ四段

一方の 立くなる

せません

進星
新曲のしるべ全」
勝ついる。

送だ、その中から半畝を翻進景場の整備に落てる機構で京都直襲機能では斉鵬ともこい問題でを密究中であるが、大泉城を持つ景徹道へは二百名か増加されることに大騰

足索の太陽々の設計圏を急いであるが、さて、五代。動市京城の新藝備面は果して

の全成に直つて各目が複響を間けい、天候、道具、獲物、餌など釣り 配した、出版者は在城アマチュア二日午後五時から本社副語名に開 製造なで「無動り
 所護館」を十 苦しい府のお台所

強を辿る西界にいさいの資源する **平好倒のスポーツとして陰盛の一**

漁つり座談會

京畿道の警察陣

一百名増員に決す

半數は京城

別外を隠ばしてゐるが本血では近|に連載、一般ファンの意言指針 質の内容は理配によって近日紙上

◆明鮮資泉供学部主催の全部國春 大きはは1日午町ル時から京城 留学会町京城供売部で日本城院 留学会町京城供売部で日本城院 市場に長い課金に日本城院 十五年でで行品を受扱する

先づスキやテキにと揺られ

で追踪、継続報で行方を見失った。で追踪、継続報で行方を見失った。 中背接から世五、六歳位の厨館人 朝廷走したので大野で 『哀號泥碑

白竈、北米倉町路上の騒ぎ

つ成した、支那許の叫び繋が起って窓から部屋の中へ差し込み、ふ **転長は廿世越モーゼル発銃をガラ**

と化した、この時大陸不敬な市衙 瞬にして修羅場狭、宴會場は一

はじめ皆思多数の出班へを受け倒た大人、令難同用者は、邀兵院を後三時廿八分京城院者『のぞみ』

聞い分間を得つて ・ と言びせ、敵は不 ・ 米まで突進した。右魔難線に活動。 原他へラッパを吹いて逃げ去つた でいるがせ、敵は不 ・ 米まで突進した。右魔難線に活動。 原他へラッパを吹いて逃げ去つた にいるが、の前のであった。 になった。 でいるが、のでは、 になった。 でいるが、のでは、 になった。 でいるが、のでは、 になった。 でいるが、のでは、 になった。 でいるが、 になった。 にな。 になった。 になった。 になった。 になった。 になった。 になった。 にな。 にな。 にな。

等下卅二度の雪の中で交属するこ

- 本 B 不

わた天使絹綿

場互更指省軍油 社會式标點裝野麻





断道の権威者を網羅し

会と惟し

十七日午明十歲、英國心長官各

原日午後一時 水下湖、永登湖 各校 二十日午町十時 於溪湖、縣浦

大八日午前十時 点词、据词、 法词、孤山、紫经、娄昌、新盘 发统、孤江、阿叟女 大九日午前十時 像词、仁说、 十九日午前十時 像词

古阿爾生 東京中公城河田町十一規則皆

3、月四日10、河域科目陶器越级(小樓・平面教河)英語、河間四日10、河域科目陶器越级(小樓・平面教河)英語、河間

京城府南山町一 天武機城窟 二十四、五蔵より三十項迄本人來

原島縣新庄中學校

子醫學傳學校 **※ 同口条内**

說院

THE SECTION

(E) 型型·单层层次)

質的干目 塩井酯

東京後草公園 猪料理山口屋 海京後草公園 猪肉科 単いずなみない かきせい ないれい というないない

イ栗鼠鼬鼠手鶴 **

電影電型影響型型 電学機士剛上新音5 本5745

